

【能美市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業改善について、ICTを効果的に活用することが求められている。

1人1台端末が児童生徒に貸与されたことを最大限に生かし、ICTを活用した学習活動をはじめ、様々な教育活動を積極的に展開し、生徒の資質・能力の育成を目指していく。1人1台端末の様々な機能を積極的に授業場面や学校生活で活用し、自分の思いを伝えたり友達等と双方向に意見や考えを交換し、共有したりすることを通して、多種多様な考えをお互いに学ぶことができる。ICT環境により、これまでにはない新たな学びの形を整えることができた。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度にはChromebookをそれぞれ1人1台端末として整備し、貸与するとともに、各学校におけるアクセスポイント、授業支援ソフト、電子黒板・スクリーン等の整備を行った。これらICT環境の整備に加え、ICT支援員の派遣により、授業支援や校内研修の充実を図るとともに、GIGA校内研修推進リーダーについて各校1名以上を配置して校内におけるICT環境の充実を図ってきた。

また、令和3・4年度の2年間、市内3校(小2校、中1校)が県指定ICT活用指導力強化モデル校に指定され、児童生徒が1人1台端末を効果的に活用する授業づくりを推進・発信した。さらに令和5年度には、文部科学省指定リーディングDXスクール事業として学校DX戦略アドバイザー事業により年間を通じて市内全11校に学校DX戦略アドバイザーが派遣され、ICT環境や学校DXについて様々なご示唆を頂きながら積極的なICT推進に努めた。

令和6年度には文部科学省指定リーディングDXスクール事業として、市内6校(小3校、中3校)が指定校となり、「令和の日本型学校教育」の構築に向けた優れた実践の創出、普及・展開の拠点となり、1人1台端末とクラウド環境を活用した効果的な教育実践を創出・モデル化し、互いの実践からの相互学習を強く推奨しつつ校種を超えて横展開することにより、全国すべての学校における教育活動の高度化の実現に資することを目的として実施した。

全国各地から本市に対してGIGAに関する問い合わせや視察も増え、学校DX(学びのDX、校務のDX)について好事例を展開することができた。リーディングDXスクール事業を指定校に留めず、本市を根上地区・寺井地区・辰口地区と3校区での連携を中心に推進してきたことで、市内全域に横展開を図ることができ、様々な情報共有を円滑に進め、具体的なDXの事例を各学校に積極的に取り入れることができた。

3. 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的な活用

令和6年度全国学力・学習状況調査の質問調査では、授業においてPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用していると回答した中学校3校が90.4%であり、小学校8校が82.1%と全国平均を上回っている。

また、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」の質問において「とてもそう思う、そう思う」の合計は、中学校87.5%、小学校85.5%、「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる」の質問において「とてもそう思う、そう思う」の合計は、中学校96.6%、小学校93.7%、「楽しみながら学習を進めることができる」の質問において「とてもそう思う、そう思う」の合計は、中学校88.5%、小学校85.6%、「画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる」の質問において「とてもそう思う、そう思う」の合計は、中学校94.6%、小学校90.7%と、全国平均を大きく上回り、本市において1人1台端末の積極的な活用が進み、新しい学びの形が展開されていることが示されている。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

令和6年度全国学力・学習状況調査の質問調査では、「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」の質問において「とてもそう思う、そう思う」の合計は、中学校94.4%、小学校92.5%、「友達と協力しながら学習を進めることができる」の質問において「とてもそう思う、そう思う」の合計は、中学校92.9%、小学校92.1%、「友達と協力しながら学習を進めることができる」の質問において「とてもそう思う、そう思う」の合計は、中学校92.9%、小学校92.1%と全国平均と比べても高いポイントを示しており、クラウド環境を効果的に活用した「他者参照」を1人1台端末によって具現化している。本市内においては、個別最適・協働的な学びの一層の充実に向けて、児童生徒が学習方法や学習内容を選択し、主体的に学習する場면을意図的・効果的に設定した単元づくりに取り組んでいる学校もある。

(3) 学びの保障

児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか（毎日持ち帰り）という調査では、中学校・小学校ともに全国平均を大きく上回る100%の状況となっている。

1人1台端末を活用し、緊急時等における学びの保障や長期欠席の生徒等への支援を進めていく。また、生徒の学習ニーズの多様化により、個別の支援が必要となる生徒について、個別最適化した学びの充実やオンライン活用、AIドリルの活用など、様々なICTの活用法についての実践を進めていきたい。